

第36回例会報告(3月18日)

【出席報告】

- ・会員数 63名 ・出席数 43名 ・欠席数 20名
 ・当日出席率 75.93% ・前々回修正出席率 96.30%
 <欠席会員> 青野、原田、檜垣(巧)、伊藤、川上、近藤(正)、佐伯、佐々木、白石(天)、竹田、
 玉井、渡辺(易)、矢野
 [免除会員] 原(真)、近藤(憲)、松本、中川、瀬野、宇高、吉田
 <3/4欠席補填> (3/2IAC)佐々木、(3/4新橋)八木、(3/4職業奉仕)白石(天)、(3/6
 地区大会)伊藤、光藤、渡邊(一)、矢野、(3/8今治北)原(竜)、川上、(3/9
 今治南)天野、吉良

会長報告・板脇秀匡会員のご子息と金森節生会員のご令嬢のご婚儀がありました。
 ・桑原信義ガバナーから地区大会出席のお礼状を頂いています。
 幹事報告・回覧物；GSEフェスタの案内(4/15締切)、国際囲碁大会の案内

音楽例会 ～2台のピアノによる連弾～

今回の音楽例会は、森山伸先生、安富早織先生をお迎えし行われた。まず松木会員より「以前より待望していた森山先生の演奏が、飯先生のおかげで実現した。」と挨拶。

曲目はまず、C.ドビュッシーが27歳の時に書いた小組曲より 1.小舟にて 2.行列 3.メヌエット 4.バレエ。森山先生によると「ピアノを習い始めた子も弾けるような曲ですが音使いの楽しい魅力的な曲です。」と解説。2台が呼応し合い音が広がりイメージが目に浮かぶような連弾ならではの妙味が展開された。続いてM.ラヴェルのボレロ。この曲はスペインの踊りの曲で3拍子の一貫したリズムに2種類の主題を反復し、パワフルで音の広がり・厚みのある印象的な演奏だった。そしてR.アーンが第一次大戦中戦地でパリの社交界を思い浮かべながら作ったワルツ集「ひもときし手紙のリボン」より 1.気まぐれな運命のたわむれ 2.アルビの黄昏 3.思い出.....未来..... 4.愛と哀しみの舞い 他、と続いた。最後はロマンチックな曲と我々の飽きないようなバラエティーにとんだ曲目編成となっていた。最後に鳴りやまぬ拍手に、プラムスのハンガリー舞曲第5番を1台のピアノの連弾で応えた。約1時間があったという間に過ぎたほど魂のこもった演奏だった。

帰りに一般の聴衆に聴いてみると「ボレロをピアノで聴いたのは初めてで良かった。森山先生のタッチがすばらしかった。」会員からも「レベルが高い演奏だった。2台のバランスも絶妙。」など賞賛の声が相次いだ。今回の例会に家族、友人、一般の音楽愛好家など大勢が訪れたことに地域に根ざしたRCを感じた。また会場にはポリオプラスの募金箱も置かれポリオ撲滅の啓蒙も行われた。



- <ゲスト> 愛媛大学教育学部助教授 森山伸先生、ピアノ教室講師 安富早織先生
 <ご家族> 青野妙子様、平尾由美子様、飯暢子様、門田さよ子様、吉良理子ちゃん
 高木久美子様、久米美華子様、光藤清子様、大澤豊子様
 <来訪ロータリアン> 今治北RC；高井修二氏

次回例会(3月25日)

〔清掃奉仕・早朝例会〕

3月25日(木) 6:30～、吹揚公園を清掃

清掃後、吹揚神社寿殿で例会を行います。雨天の場合は例会のみです。
 青少年友の会新役員の挨拶もあります。

〔献立；タイガー〕